

「Ogasawara Research (小笠原研究)」投稿要領

2023. 5. 2 改訂

「Ogasawara Research (小笠原研究)」では、主として小笠原に関係するオリジナルな学術論文、調査報告、総説、および生物相のリストや気象情報など基盤的なデータを含む長い報文を優先するが、短い報文も編集委員会の判断で掲載する場合がある。投稿に際しては、希少生物等の保全に対して十分に配慮すること。

【原稿の体裁と執筆要領】

英文、和文ともワープロソフト (Microsoft Word) を使用し、そのまま製版できるように図表を貼りこんだ原稿 (A4、横書き) を作成する。英文、和文ともに体裁は、小笠原研究委員会の Web Site (<https://www.tmu.ac.jp/ogasawara/>) で公開されている ogasawara_research_E.docx (英文の場合)、ogasawara_research_J.docx (和文の場合) をそれぞれ参照すること。

英語と日本語のキーワードをそれぞれ 5 つ以内で列挙する (英語キーワードはアルファベット順、日本語キーワードは五十音順)。キーワードには、原稿タイトルに含まれる語句は含めない。英文報文には和文要旨を、和文報文には英文要旨を、それぞれ最終ページにつける。章節のたて方は基本的に著者に任せるが、脚注はできるだけ用いない。

文献引用の仕方、文献リストの書き方は「小笠原研究年報」に準じる (「小笠原研究年報」投稿要領の 3. 本文中での文献の引用の仕方、4. 引用文献の書き方 を参照のこと)。

【投稿と編集】

原稿~~べ~~切は原則として毎年 1 月 20 日である。電子ファイルを編集委員会あてに送付する。電子ファイルは、「本文」は Microsoft Word、「表」は Microsoft Excel、「図・写真」は EPS、TIFF、JPEG などの形式とするか、これらのファイルを 1 つの PDF ファイルにまとめたものとする。他の著作からの図表を引用する場合は、著者の責任であらかじめ著作権者の了解を取る。投稿は学外からも受け付ける。原稿の掲載可否は編集委員会で決定する。編集は、論文の内容によっては編集委員長が委任する臨時の編集委員によって行われる場合がある。なお、出版費用が限られているので、投稿予定がある場合は 12 月中に編集委員会に前もって相談すること。

【校正】

原稿はそのまま製版され、校正をできないので、投稿時に十分注意すること。

【抜刷】

「Ogasawara Research (小笠原研究)」では抜刷は作成せず、原則として冊子 30 部を著者渡しとする。

【投稿者へのお願い】

今後、「Ogasawara Research (小笠原研究)」掲載の報文の全文あるいはその一部がインターネット文献検索サイト上に掲載されることも多くなると思われます。小笠原研究委員会宛に要請のあったものについてはできるだけ協力していきたいと考えておりますが、その中には「著作権の処理」をすませておく必要のあるものもあります。そこで、投稿される報文につきまして、あらかじめ電子化・公開することの許諾をいただければと存じます。特にご異存なければ、小笠原研究委員会の Web Site (<https://www.tmu.ac.jp/ogasawara/>) から許諾書のファイル (kyodakusho.docx) をダウンロードし、署名または捺印の上、小笠原研究委員会宛にお送り下さい。なお許諾を頂けない場合はその旨お知らせいただければ幸いです。

以下に示す許諾書をお送りいただいた報文につきましては、東京都立大学の機関リポジトリ「みやこ鳥」(<https://tokyo-metro-u.repo.nii.ac.jp/>) で公開いたします。

許 諾 書

小笠原研究委員会 殿

年度「小笠原研究年報」「Ogasawara Research (小笠原研究)」掲載の自著報文類の電子化・公開については、これを許諾します。

年 月 日

氏 名：

※著者が複数の場合はこの用紙にまとめて署名していただいても結構です。